

8月デイサービススキルアップ研修

8月20日、看護職員員阿弥信子が講師となり、職員9名が参加して「身体拘束」について勉強しました。

身体拘束には、身体的・精神的・社会的な拘束がありますが今回は私達が普段介護していると何気なく使ってしまう「ちょっと待ってね。」や「座っててください。」等の言葉で、身体的精神的な行動を抑制するスピーチロックに焦点を当て勉強しました。

スピーチロックにならない声掛けを皆で話し合い、相手に認知症があっても頭ごなしにいうのではなくコミュニケーションをとる方法で声掛けを行なうことが大切だと学びました。

声掛けは接遇の面も併せ持っているので丁寧さや思いやりの気持ちで接することができれば良いと思いました。

